

(※)自然・建造物・文化財・眺望などの景観要素を対象外とする場合は、該当する項目を除く。



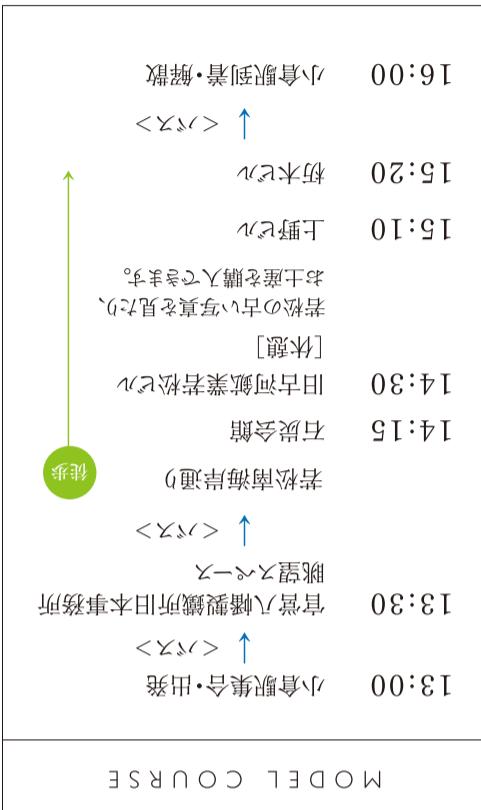
橋面中央部の支間開口部が特徴。3つの橋形アーチによる構造が特徴的。

④若戸大橋



1920年(大正9)竣工。当時は日本最大の橋梁である。

⑤折木ビル



## 【八幡・若松編】



気象や風土による地形構造から、移り変わりの激しい現代社会の表層まで、様々な層の重なり方が、場所のありさまを決定しています。そこには、自然を基盤とした、環境、歴史の積み重ね、過去の人々の生活と努力の結果が存在しています。

今私たちが目にすることができるは、その結果の現時点での形です。

「風景の見方」は、現在の私たちの生活と、この積み重ねの結果との間にある物語を考えるもので、北九州市には、まちを形成してきた産業遺産や、歴史的建造物などの地域資源が数多く残っています。私たちがこの「風景」の大切さに気付き、守り、継承していかなければ、気づいたときには、消失しているかもしれません。それは、北九州市らしさの消失にもつながります。

ぜひ、お気に入りの「風景」を見つけ、そこにある物語を知り、眺められる場所を大切にしましょう。

### 風景ガイドツアーについて

私たちの身近にある風景や景観資源を見て知っていただくことで、わがまちへの愛着と誇りを感じてもらうことを目的に行っています。

#### 風景の楽しみ方

歩いて自転車で回ったりして、その土地の風や匂いを感じてみよう。



その土地ならではの食べ物や民芸を楽しんでみよう。



古くからある路地や小径を見つけて歩いてみよう。



地元の人にいろんな話を聞いてみよう。



地形が分かる高台から眺めてみよう。



商店街や市場でその土地ならではの生業や暮らしを感じてみよう。

